

岡山地域勉強会 2014 年度 第 2 回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：平成 26 年 8 月 19 日(火)15:00~17:00
- (2) 開催場所：ピュアリティまきび 会議室 (岡山県岡山市北区下石井 2-6-41)
- (3) 今回の議長役：細坪理事・事務局長
- (4) 議事録作成者：福原
- (5) 出席者：(順不同、敬称略)

萩原・鷺山・小友 (関西支部)、磯打 (香川大学)、大塚 (ミト・ワークス)、
奥野 (奥野組)、大塚 (ミト・ワークス)、福島 (オーエム機器)、中嶋 (コンセフ)、
古江 (天野産業)、横山・松本 (横山製網)) 吉田 (上田フレキ)、
岡本・福原 (岡山産業振興財団)

オブザーバー：岡山県／平井氏、和歌山県／吉田氏
飯島氏・平川氏 (三洋コンピュータ)

(6) 議事内容

- ①出席者自己紹介、自社 (団体) の BCP/BCM の取組紹介
- ②岡山県、岡山地域勉強会の取組
- ③関西支部地域勉強会の取組
- ④BC 基本事項研究会の取組、静岡・名古屋地域勉強会の取組
- ⑤香川大学の取組、香川地域継続検討協議会の取組
- ⑥その他の地域の取組
- ⑦第 3 回国連防災世界会議の関連事項の概要及び岡山の取組のアピール方法の検討
- ⑧意見交換

(7) 配布資料

- ①次第
- ②岡山県、岡山県地域勉強会の取組 (岡山県産業振興財団)
- ③関西支部・関西地域勉強会の活動 (BCAO 関西支部)
- ④第 2 回岡山地域勉強会 (BCAO)

2. 議事の内容

①挨拶／岡本隆嗣氏(岡山県産業振興財団専務理事)

岡山県の BCP 事業は、今年で 3 年目ではありますが、災害対応型の BCP から転換して経営論としての BCP にいち早く取り組み、BCP 策定にとどまることなく、企業活動における実践による「儲かる BCM」、「お互い様 BC 連携ネットワーク」を旗印として進めております。本日の勉強会を通じて、各地域で活動を行われている皆様と活発な意見交換をさせて頂きたいと考えておりますので宜しくお願いします。

②岡山県、岡山地域減教会の取組 (岡山県産業振興財団 福原 BCP 推進 Mg)

平成 24 年度から取組を開始した BCP/BCM 事業の概要 (災害対応型 BCP から事業戦略重視型 BCP への転換、お互い様 BC 連携ネットワークの構築)、BCM を企業活動の中核に捉えて「儲かる BCM」に挑戦している県内企業の事例の説明があった。

③関西支部・関西地域勉強会の活動（BCAO 萩原関西支部長）

2013年度の勉強会・現地視察（東日本大震災現地視察、和歌山県南部現地視察）ワーキンググループ活動報告会、2014年度の活動方針・予定の説明があった。

④香川大学の取組、香川地域継続検討協議会の取組（香川大学 磯打特命准教授）

香川大学危機管理研究センターを中心に香川地域の重要機能を担う組織が連携して設立された「香川地域継続検討協議会」の香川地域から四国全体を視野に入れた地域継続力の向上を目指した取組の説明があった。

⑤第2回岡山地域勉強会講演資料（BCAO 細坪・理事事務局長）

BC 基本事項研究会の取組と活動状況、静岡・名古屋地域勉強会概要と活動状況、その他地域（仙台）の取組及び第3回国連防災世界会議の概要と岡山の取組のアピール方法の検討について説明があった。

⑥挨拶／横山信昭氏（岡山地域勉強会相談役）

関西、香川の遠方からの参加を含め多数の方が参加して頂き、有意義な情報交換を行うことができました。企業経営者の一人として、BCPに取組めば取組むほど一社では何もできず、企業間及び行政との連携が不可欠であり、また企業経営とBCPは両輪であることがわかりました。今後更に勉強していかねばならないと思っておりますので、来月に開催します第3回岡山地域勉強会においても多数の方の参加をお願いします。

3. 今後の予定（地域連携訓練）

月 日	訓練項目	訓練のねらい
9月17日 (水)	シミュレーション(1) 南海トラフ巨大地震	四国が被災した際に、いかに支援するか
10月16日 (木)	シミュレーション(2) 首都直下型地震	東京が被災した際に、いかに支援するか
12月11日 (木)	シミュレーション(3) 岡山直下型地震	岡山が被災した際に、いかに支援してもらうか

勉強会の様子



勉強会の様子

